

第2回 JR行田駅前広場周辺再整備 基本計画検討委員会

対象地区及び周辺地域の概況

平成26年11月18日

目次

1. 対象地区の概況 <これまでの変遷>

壱里山町の区画整理事業～行田駅開業

行田駅開業～駅前広場整備

土地利用の変遷

現在の都市計画決定と土地利用状況

2. 対象地区周辺の概況

対象地区周辺での土地区画整理事業

対象地区周辺の土地利用状況

駅周辺の都市計画決定と土地利用状況

駅周辺の土地計画MPにおける位置づけ

3. JR行田駅の概況

鉄道運行状況、アクセス

東口駅前広場の整備状況

《参考》周辺駅前広場の状況

①JR吹上駅、②JR北鴻巣駅、③JR熊谷駅

1. 対象地区の概況＜これまでの変遷＞

（壱里山町の区画整理事業～行田駅開業）

◆区画整理事業～行田駅開業まで

年次	概要	
S30	太井村の一部（大字棚田、大字門井）と行田市 合併 （大字北新宿は旧吹上町、大字太井は熊谷市と合併）	⇒市域内を高崎線が通過するようになると、国鉄の駅の設置が検討される
S34	行田第1（壱里山町）区画整理事業 計画開始	⇒工場進出に伴う不良市街地形成を予防するため、壱里山地区の区画整理事業を計画
S35	壱里山公園（0.5ha） 都市計画決定	
S37	行田第1（壱里山町）区画整理事業 完了	
S38	清水町区画整理事業 計画開始	
S39	清水町区画整理事業 完了	⇒駅前開発の基盤整備が完了
S41	国鉄行田駅 開業	

S26:区画整理事業前の対象地区



S36:区画整理計画図



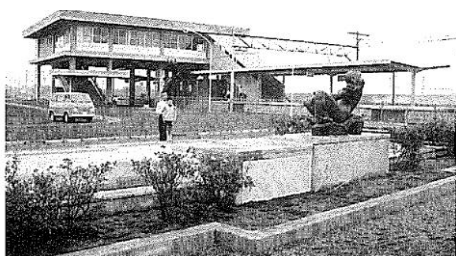
1. 対象地区の概況＜これまでの変遷＞

（行田駅開業～駅前広場整備）

◆行田駅開業～駅前広場整備まで

年次	概要	周辺状況
S41	国鉄行田駅 開業	⇒人家もまばらであり、駅前広場も整備されていない
S51	駅前広場 整備	⇒駅前広場や周辺道路が整備され、市街化が進んだため、乗客数も徐々に増加
H7	行田市市内循環バス 就航	⇒周辺土地利用には大きな変化なし
H8	観光案内所 開設	
H13	自動券売機、自動改札機、エレベーター等 整備 駅前広場 整備	

S41:開設同時の行田駅前広場



S51:開業10年目の行田駅前広場



H13:行田駅前広場(公園側)



H13:行田駅前広場(交番側)

S45当時の対象地区



1. 対象地区の概況＜これまでの変遷＞

(土地利用の変遷)

◆区画整理事業前後における土地利用の変化

S26当時の対象地区(区画整理事業前)



S45当時の対象地区



S53当時の対象地区



昭和34年～昭和37年にかけて、行田第1(壺里山町)区画整理事業が実施された。

昭和45年の航空写真を見ると、岩崎電気が立地するとともに、住宅地が点在している。

また、昭和39年には清水町においても区画整理事業が実施され、壺里山町以上に住宅地の増加が進んでいる。

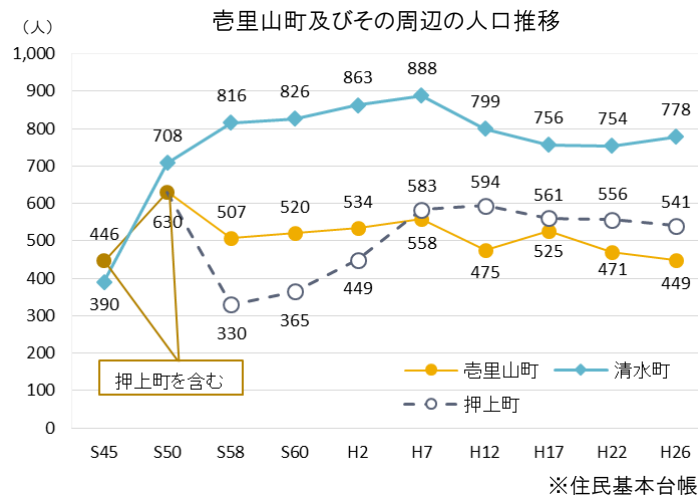
1. 対象地区の概況＜これまでの変遷＞ (土地利用の変遷)

◆区画整理事業前後での土地利用の変化

S60当時の対象地区



H26の対象区域(現在)



壱里山町の人口は、昭和58年から平成7年まで緩やかに増加しているが、平成7年以降は減少傾向に転じている。

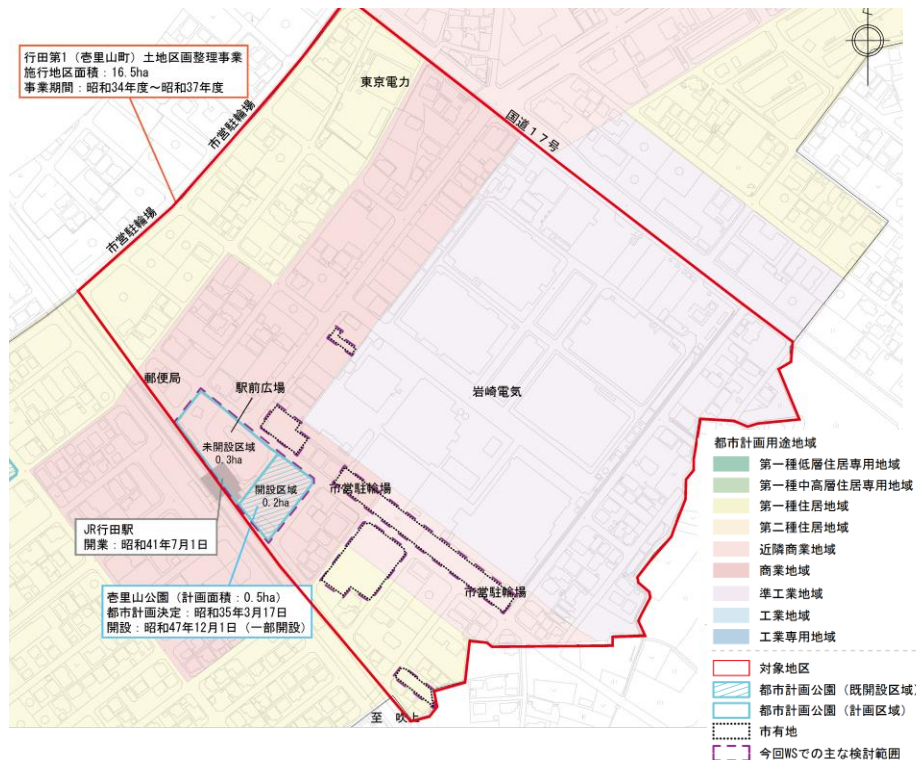
昭和60年の航空写真では、清水町に比べ住宅地の割合は低く、駐車場としての利用が多く見られる。

また、昭和60年と平成26年の航空写真を比較すると、昭和60年に駐車場として利用されている土地のほとんどが、現在でも継続して駐車場利用されている。

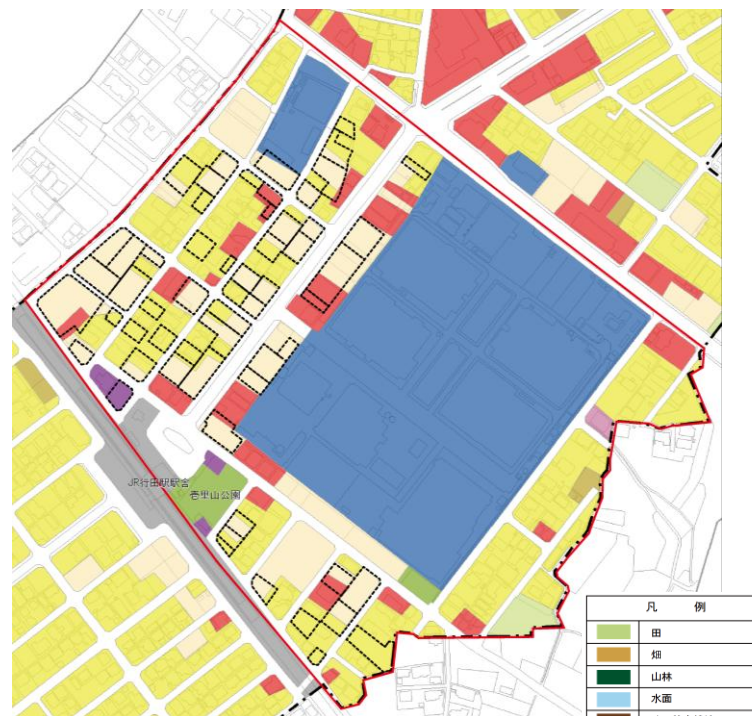
1. 対象地区の概況＜これまでの変遷＞

（現在の都市計画決定と土地利用状況）

◆都市計画決定



◆土地利用状況



※平成23年度 都市計画基礎調査結果

凡	例
田	田
畑	畑
山林	山林
水面	水面
その他自然地	その他自然地
住宅用地	住宅用地
商業用地	商業用地
工業用地	工業用地
公共施設	公共施設
幼稚園、保育所	幼稚園、保育所
病院、診療所	病院、診療所
老人ホーム	老人ホーム
処理場、浄水場	処理場、浄水場
火葬場	火葬場
道路用地	道路用地
交通施設用地	交通施設用地
公共空地	公共空地
墓園	墓園
その他公共施設用地	その他公共施設用地
その他の空地	その他の空地
行政界	行政界
駐車場	駐車場

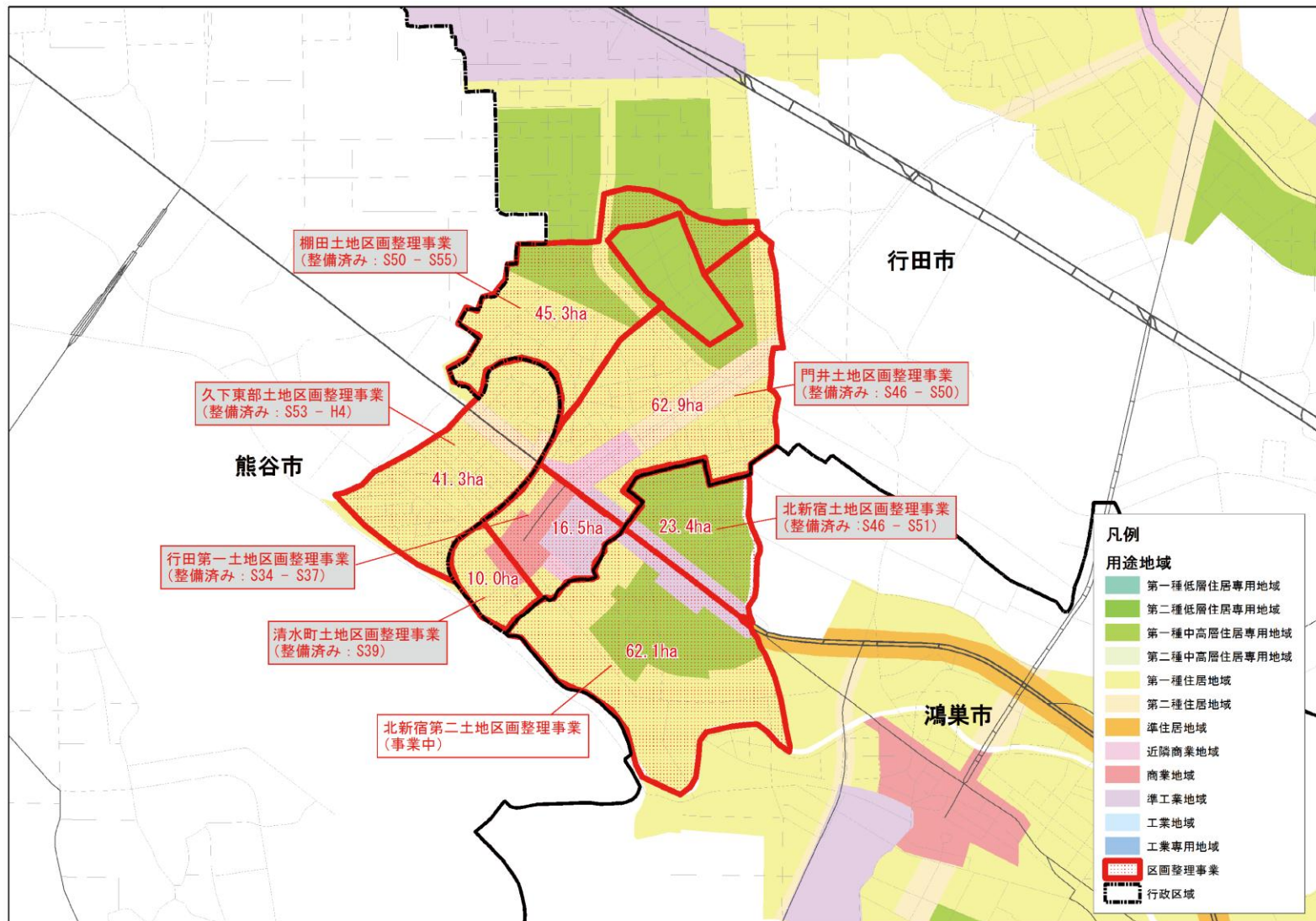
対象地区は、岩崎電気から鴻巣市境にかけて準工業地域が指定されており、鴻巣市との境には住宅が立地している。

行田駅周辺及び県道行田停車場線沿いは商業地域に指定されているが、商業施設は少なく、駐車場が多い。

また、熊谷市側は第1種住居地域となっているが、約半分は駐車場として利用されている。

2. 対象地区周辺の概況 (対象地区周辺での土地区画整理事業)

◆対象地区周辺での土地区画整理事業



※資料提供:熊谷市、鴻巣市

2. 対象地区周辺の概況

(対象地区周辺での土地区画整理事業)

◆参考：北新宿第二土地区画整理事業

- ・所在地 埼玉県鴻巣市北新宿地内
- ・施行者 鴻巣市
- ・面積 62.1ha
- ・都決日 平成7年8月18日

- ・計画人口 5,000人
- ・進捗率 27.4%(平成24年3月31日現在)
- ・事業期間 平成27年度末完了予定



2. 対象地区周辺の概況 (対象地区周辺での土地区画整理事業)

◆参考：久下東部土地区画整理事業

- ・所在地 埼玉県熊谷市久下1丁目～4丁目
- ・施行者 熊谷市
- ・面積 41.3ha
- ・都決日 昭和53年1月20日

- ・人口 2,275人(H26.10.1現在)
- ・進捗率 100%
- ・事業期間 昭和53年～平成4年度

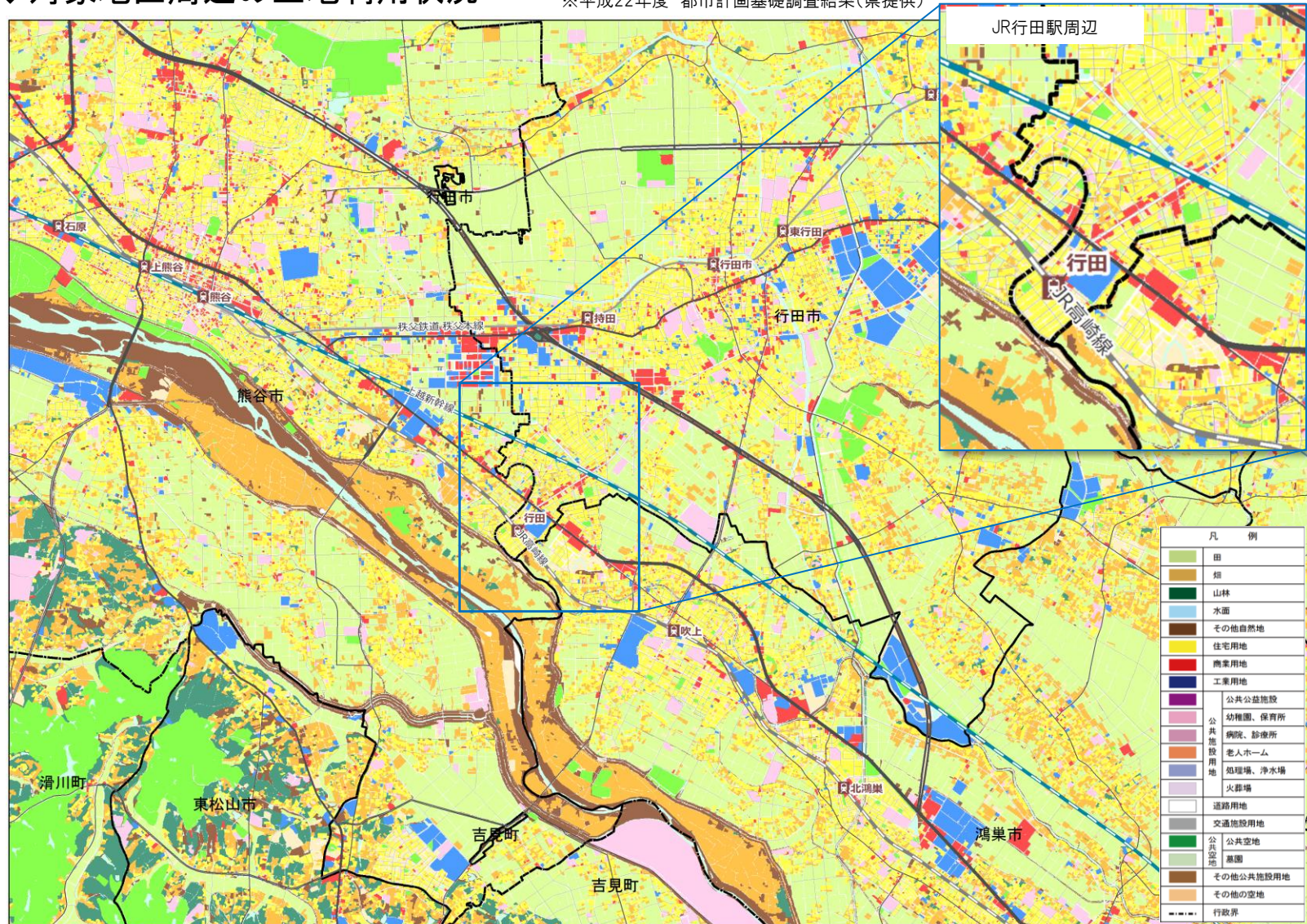


※平成22年度 都市計画基礎調査結果(県提供)

2. 対象地区周辺の概況 (対象地区周辺の土地利用状況)

◆対象地区周辺の土地利用状況

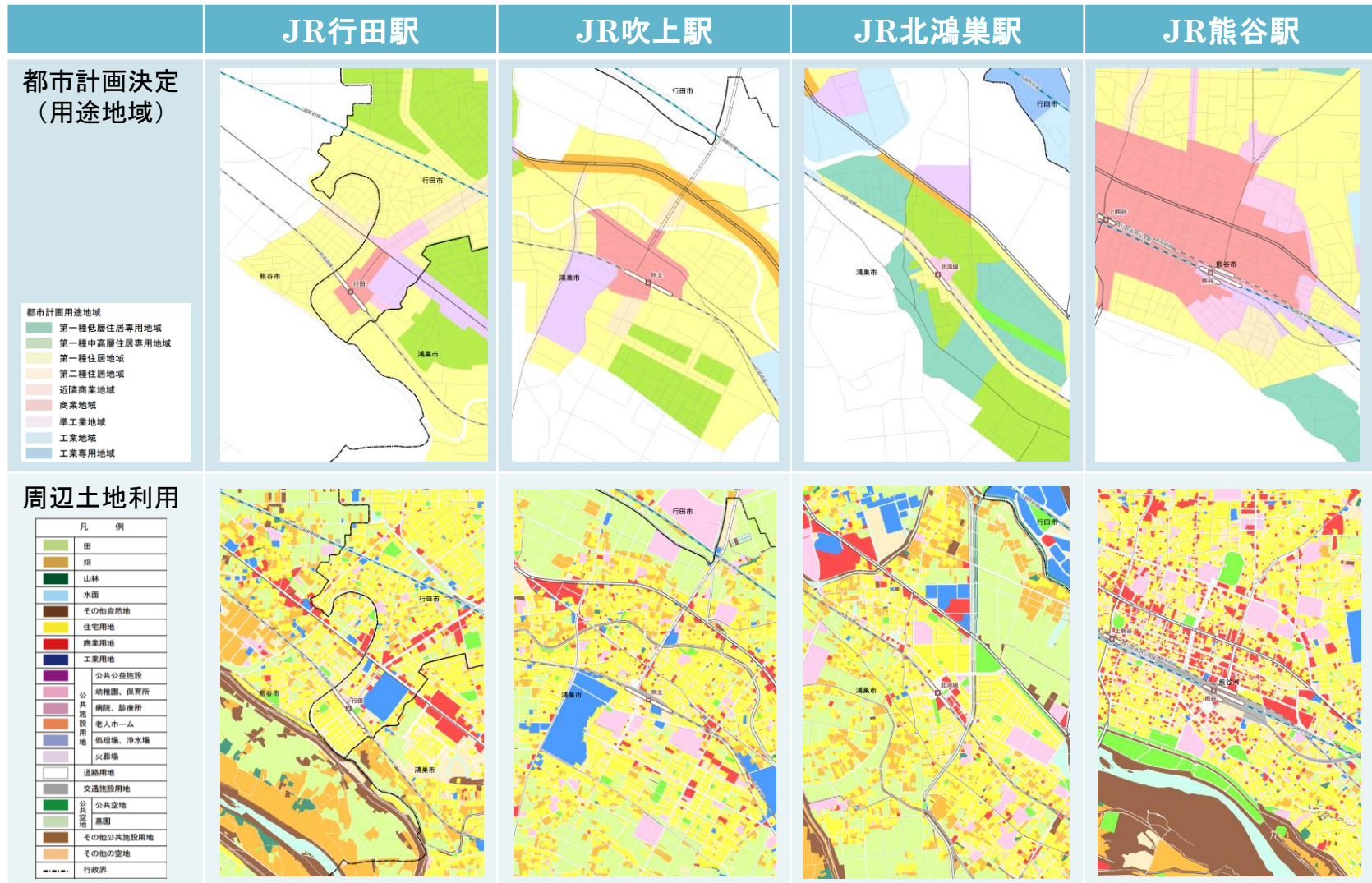
※平成22年度 都市計画基礎調査結果(県提供)



2. 対象地区周辺の概況

(駅周辺の都市計画決定と土地利用状況)

◆対象地区周辺の都市計画決定（用途地域）と土地利用状況



※都市計画決定状況、平成22年度 都市計画基礎調査結果(県提供)

2. 対象地区周辺の概況

(駅周辺の都市計画MPにおける位置づけ)

◆対象地区周辺の駅概要と都市計画MPにおける位置づけ

※資料提供：鴻巣市

駅概要	JR行田駅	JR吹上駅
開業年月日 駅乗車人数 駅前広場面積	:昭和41年7月1日 :6,962人/日 :3,000m ²	:明治18年3月1日 :9,450人/日 :4,260m ²
都市計画MP における 位置づけ	≪西部地域≫ 鉄道の利便性を活かし、 人々が行き交い、快適に暮らせるまち ◆基本方針 ①住みたいと思える、快適で質の高いまちづくり ・JR行田駅のアクセス性を活かし、南の玄関口にふさわしい都市機能が充実したまちづくり ②南の玄関口として、人々が行き交うまちづくり ・中心市街地や市内各地への交通利便性 ◆施策の内容(JR行田駅周辺の位置づけ) ①住みたいと思える、快適で質の高いまちづくり ✓ 行政サービス施設の充実 ✓ 子育て支援施設や商業施設の整備促進 ✓ 駐車場・駐輪場の整備促進 ②南の玄関口として、人々が行き交うまちづくり ✓ 駅前広場の再整備と周辺の都市基盤整備 ✓ 地域公共交通の更なる強化 ✓ 駐輪場整備の促進と、観光レンタサイクルの更なる充実 ✓ 交通規制や車道との分離などの安全対策の推進 ✓ 景観形成に向け、駅前広場の再整備にあわせた緑化 ✓ 観光情報の発信機能を高めるため、観光案内所の充実	≪吹上地域≫ 商・工・住・緑のバランスの取れた、 副次拠点としての魅力のあるまち ◆基本方針 ①商・工・住・緑のバランスの取れたコンパクトな市街地の形成 ・商・工・住・緑の各土地利用が配置的・量的に適度にバランスが取れ、総合に調和したコンパクトな市街地を形成 ②副次拠点としての魅力の向上 ・公共公益施設や商業、業務、サービス施設を集積させる ・質の高い歩行空間、街路樹等を活用した魅力ある都市景観を形成 ・既存のレクリエーション施設の充実・活用により魅力ある地域住民の交流の場を創出 ◆施策の内容(JR吹上駅周辺の位置づけ) ✓ 商業、業務、サービス施設等の集積 ✓ 一定の利便施設の立地を考慮した中高層住宅地の形成を不燃化 ✓ 電線対の地中化や壁面後退などによる歩行空間の確保も視野ににぎわいと良好な景観を備えた歩行空間を形成 ✓ 鉄道とバス・一般車両等との交通結節機能の強化やバリアフリー化を図る ✓ 駅北口における民間開発や個人施行の土地区画整理事業の誘導 ✓ 市の玄関口、シンボルロードの一つにふさわしい景観形成 ✓ 駅前広場及びアクセス道路の整備促進による防災機能強化

2. 対象地区周辺の概況

(駅周辺の都市計画MPにおける位置づけ)

◆対象地区周辺の駅概要と都市計画MPにおける位置づけ

※資料提供：鴻巣市、熊谷市

駅概要	JR北鴻巣駅	JR熊谷駅
開業年月日 駅乗車人数 駅前広場面積	:昭和59年11月3日 :7,878人/日 :約7,000m ²	:明治16年7月28日 :31,290人/日(JR)、5,786人/日(秩父鉄道) :5,200m ²
都市計画MP における 位置づけ	≪北鴻巣地域≫ 駅周辺の質の高い居住空間と河川沿いの自然豊かな水辺空間、良好な田園地帯とが調和するまち ◆基本方針 ①駅周辺の質の高い居住空間の維持・形成 ・北鴻巣駅東口周辺では、既に緑豊かな質の高い居住空間が形成されており、今後も良質な居住空間の維持を図りながら、商業・サービス機能の向上などによる更なる魅力向上を図る ・北鴻巣駅西口周辺では、実施中の土地区画整理事業を促進し、東口周辺地区と同様に質の高い居住空間を形成 ②自然豊かな河川沿いの水辺空間、良好な田園地帯の維持・形成 ③花の交流拠点の整備によるにぎわい創出 ④相互に調和した一体となった地域としての魅力創出 ◆施策の内容(JR北鴻巣駅周辺の位置づけ) ✓ 主に近隣住民が歩いて日用品の買い物ができるような身近な商店街づくり(駅東口) ✓ 土地区画整理事業により低・中・高層のバランスの取れた良好な住宅地を形成(駅西口) ✓ 北鴻巣駅と主要幹線道路・幹線道路に囲まれたエリア内の主要な道路において、歩行者ネットワークを形成 ✓ 鉄道とバス・一般車両等との交通結節機能の強化やバリアフリー化を図る ✓ 駅前という立地条件を活かした利便性が高くにぎわいのある街並の創出(西口土地区画整理事業区域) ✓ 市の玄関口、シンボルロードの一つにふさわしい景観形成	≪富士見中学校地域≫ ◆地域づくりの目標(熊谷駅周辺の位置づけ) ①夜間に誰でも安心して歩ける環境を確保していく ②公民館をコミュニティの拠点として活性化していく ③小中学校を、住民交流の場として活用していく ④既存の公園などを特徴ある魅力的な場としていく ⑤“水の流れ”をコミュニティの軸として活かしていく ⑥熊谷駅周辺を安全で美しい環境として改善していく ✓ 市の顔(玄関)にあたる熊谷駅周辺及び駅前通りについて、看板・サインの抑制や沿道ガーデニングによる美観の確保、風俗店の進出抑制、建物の形態・デザイン等の規制・誘導などをはりながら、市外の人に熊谷市の好印象・明るいイメージを与えられるような、清潔・安心で美しい環境を整えていく。 ⑦テクノグリーンセンター用地について、地域の活性化にも貢献するような活用策を検討していく ⑧荒川河川敷や土手を、日常的なレクリエーションの場として再生し、地域生活との関係を深めていく ⑨星川を軸とした界隈を、多くの人が住み、安心して楽しく時間が過ごせるまちとして活性化していく ⑩歴史・文化資源の散策・交流環境を確保していく ⑪安全な交通環境を確保していく

3. JR行田駅の概要 (鉄道運行状況、アクセス)

●JR行田駅の概要

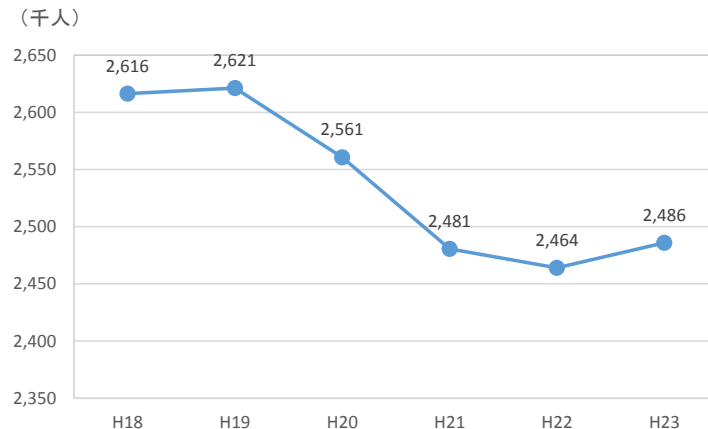
【駅概要】

- ・運行路線 : 高崎線
- ・駅乗車人数 : 6,962人/日
- ・駅前広場面積 : 3,000m²
- ・開業年月日 : 昭和41年7月1日

【アクセス】

- 市内循環バス : 南大通り線
西循環
観光拠点循環

【JR行田駅年間利用者数推移】



3. JR行田駅の概要 (東口駅前広場の状況)

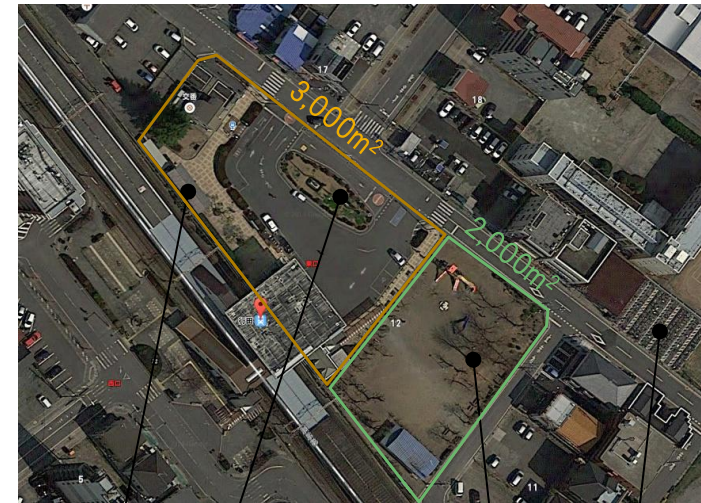
●JR行田駅東口駅前広場の概要

【交通空間機能】

- ・歩行空間 : 乗降場所のみ屋根あり
- ・車両走行空間 : 公共車両・自家用車の動線共用
- ・バス乗降場 : 1バース
- ・タクシー乗降場 : 1バース
- ・身障者用乗降場 : 2バース
- ・タクシー待機場 : 約10バース程度
- ・駐輪場 : 周辺に無料駐輪場あり(屋根なし)
- ・駐車場 : 周辺に月極駐車場あり

【環境空間機能】

- ・市街地拠点機能 : 観光案内所、交番
- ・交流機能 : 壱里山公園併設
- ・景観機能 : 時計台、モニュメント
- ・サービス機能 : トイレ、案内版 等
- ・防災機能 : オープンスペースとして活用可能



観光案内所



壱里山公園



時計台・モニュメント



駐輪場

《参考》周辺駅前広場の状況 ①JR吹上駅

●JR吹上駅の概要

【駅概要】

- ・運行路線 : 高崎線
- ・駅乗車人数 : 9,450人/日
- ・駅前広場面積 : 4,260m²
- ・開業年月日 : 明治18年3月1日

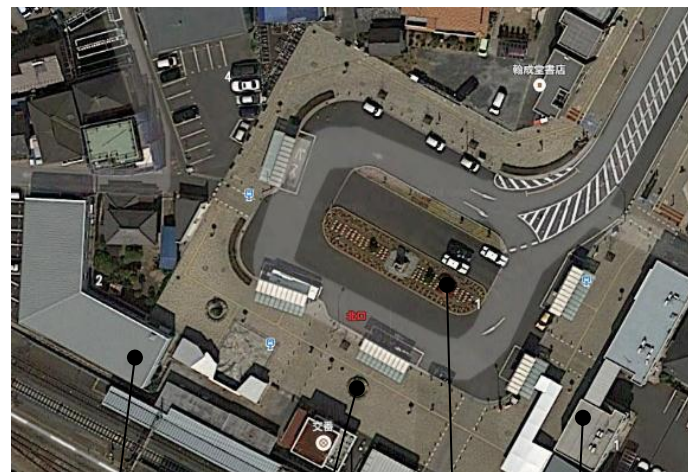
●JR吹上駅北口駅前広場の概要

【交通空間機能】

- ・歩行空間 : 乗降場所のみ屋根あり
- ・車両走行空間 : 公共車両・自家用車の動線共用
- ・バス乗降場 : 3バース
- ・タクシー乗降場 : 2バース
- ・身障者用乗降場 : 1バース
- ・タクシー待機場 : 約20バース程度
- ・駐輪場 : 駅広内に有料駐輪場あり(立体)
- ・駐車場 : 周辺に月極駐車場あり

【環境空間機能】

- ・市街地拠点機能 : 売店、和菓子屋、学習塾 等
- ・交流機能 : ベンチあり
- ・景観機能 : 花壇、時計台、モニュメント 等
- ・サービス機能 : トイレ、電話BOX、案内版 等
- ・防災機能 : オープンスペースとして活用可能



《参考》周辺駅前広場の状況

②JR北鴻巣駅

●JR北鴻巣駅の概要

【駅概要】

- ・運行路線 : 高崎線
- ・駅乗車人数 : 7,878人/日
- ・駅前広場面積 : 約7,000m²
- ・開業年月日 : 昭和59年11月3日

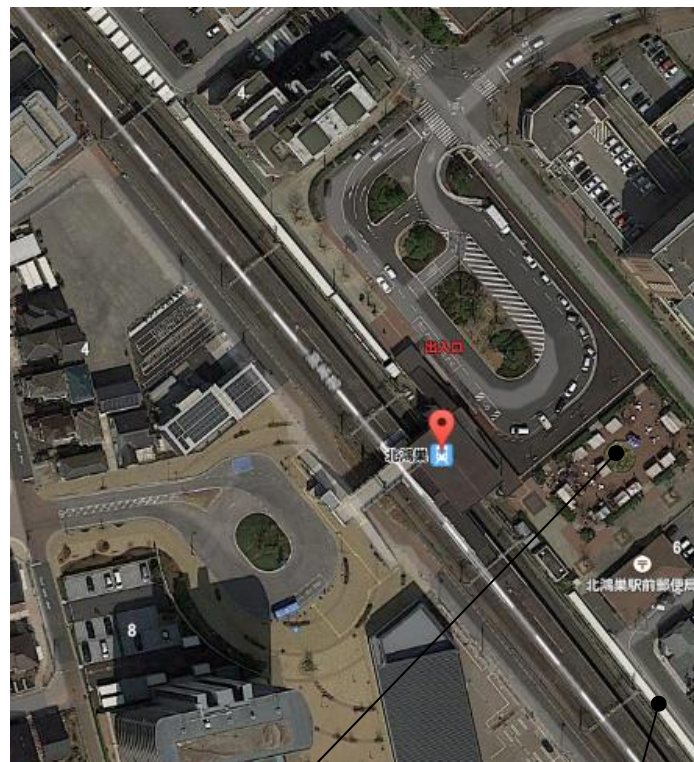
●JR北鴻巣駅東口駅前広場の概要

【交通空間機能】

- ・歩行空間 : 乗降場所のみ屋根あり
- ・車両走行空間 : 公共車両・自家用車の動線共用
- ・バス乗降場 : 1バス
- ・タクシー乗降場 : 1バス
- ・身障者用乗降場 : 1バス
- ・タクシー待機場 : 約4バス程度
- ・駐輪場 : 隣接して有料駐輪場あり(屋根あり)
- ・駐車場 : 周辺に月極駐車場あり

【環境空間機能】

- ・市街地拠点機能 : 郵便局、学習塾、クリーニング店 等
- ・交流機能 : 噴水広場
- ・景観機能 : 花壇、時計台、モニュメント 等
- ・サービス機能 : 電話BOX、案内版 等
- ・防災機能 : オープンスペースとして活用可能



噴水広場



駐輪場

《参考》周辺駅前広場の状況 ③JR熊谷駅

●JR熊谷駅の概要

【駅概要】

- ・運行路線 : 高崎線、上越・長野新幹線、秩父鉄道
- ・駅乗車人数 : 31,290人/日(JR)、5,786人/日(秩父)
- ・駅前広場面積 : 約5,200m²
- ・開業年月日 : 明治16年7月28日

●JR熊谷駅北口駅前広場の概要

【交通空間機能】

- ・歩行空間 : 乗降場所のみ屋根あり
- ・車両走行空間 : 公共車両・自家用車の動線分離
- ・バス乗降場 : 5バス(待機場:6バス)
- ・タクシー乗降場 : 2バス
- ・身障者用乗降場 : なし
- ・タクシー待機場 : 約32バス程度
- ・駐輪場 : 隣接して有料駐輪場あり(屋根あり)
- ・駐車場 : 周辺に月極・時間貸し駐車場あり

【環境空間機能】

- ・市街地拠点機能 : 商業ビル、複合施設 等
- ・交流機能 : 噴水広場
- ・景観機能 : モニュメント 等
- ・サービス機能 : 案内版 等
- ・防災機能 : なし



駐輪場



駅前商業ビル